

## 学校教育目標 「ともに学び 自らを創り出す 朱六の子ども」～共感・協働・自己実現 笑顔が集まる学校～

子どもの実態

**子どもの笑顔**

- ・目標に向かって頑張れる
  - ・友達と仲良くし、助け合える
  - ・きまりやルールを守って楽しく遊ぶことができる。
  - ・生きている喜びを味わうことができる。
  - ・学校に誇りを持てる
- 自律 協働 規則の尊重 生命の尊さ 伝統と文化の尊重**

地域・保護者のようす

**保護者・地域の笑顔**

- ・子どもの様子を知り、見守り、励まし、寄り添う。
- ・学校への信頼感を醸成する。
- ・地域の一員として、子どもの社会生活の基盤を養う

**めざす子ども像 人と共感、協働するなかで、自己実現できる子ども育成するべき資質能力 「コミュニケーション能力」**  
**⇒聴く力、読む力、観る力、考える力、書く力、話す力**

**子どもたちの笑顔のために**

**教職員の笑顔**

- ・学校での子どもの居場所つくりを進める。
  - ・子ども一人ひとりを徹底的に理解して、子どものよさを伸ばす
  - ・「困り」を抱える子ども一人ひとりに対する支援を行う。
  - ・教職員がチームとして取り組む
  - ・教職員が自ら学ぶ姿勢をもつ
  - ・使命感をもち、責任を果たす
  - ・よんきゅう絆プロジェクトの推進
  - ・学校に誇りを持つ
- 教職員が心がけること

**☆学校経営方針**

【学校経営にチーム朱六の力を】

1. 学校が子どもにとっての安心できる居場所とするため、一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする。
2. 教育目標の達成のため、カリキュラムマネジメントの視点の下、PDCAを意識し、全教職員が教育者としての創意あふれる教育活動を推進する。
3. 基礎・基本の確実な定着を図り、社会の変化に対応できる「生きる力」を育むために、学ぶ意欲にあふれる学校風土を造る。
4. 報告・連絡・相談を緊密に行い、協働性のある職場を作る
5. 教育者としての自覚をもち、常に自己研鑽に努める。
6. 保幼小・小中など校種間連携・接続を推進する。
7. 家庭・地域・外部団体等との連携を深め、学校からの情報発信を行う。

**学びづくり**

- 主体的・対話的で深い学びを重視
  - ・コミュニケーション能力の育成
- 家庭学習の充実
  - ・自学自習の習慣化
- 問題解決的な学習の工夫・充実
  - ・学習のめあて、見通し、ふりかえりを明確にし、思考力・判断力・表現力を育む授業の工夫
- 学力向上の取組の推進
  - ・学力向上プランの推進・PDCAサイクルでの検証
- 支援の必要な子どもへの指導の充実
  - ・個に応じた計画的な指導

**心づくり**

- 豊かな心を育む教育の推進
  - ・道徳教育の充実
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実
  - ・体験を通して、共感すること、楽しさや美しさ味わう活動の充実
- 規範意識の育成
  - ・授業での学びのルールつくり
  - ・きまりやルールの大切さの自覚
  - ・基本的生活習慣の徹底
- 人権を尊重した教育の推進
  - ・多様な他者と共に生き、支え合い高めあう学級集団の充実

**体づくり**

- 体力の向上に向けた取組
  - ・取り組むべき課題の焦点化
- 自ら考える保健教育の充実
  - ・自分の体や、自身の安全に対する関心を高める
- 安全・防災教育の充実
  - ・生活安全・交通安全・災害安全
  - ・適切に判断・行動する力の育成
- 食に関する指導の推進
  - ・望ましい食習慣の確立

**環境づくり**

- 家庭や地域・学校との協働
  - ・相互の役割を明確にした教育の推進～学校運営協議会やPTA～
- 学校美化の推進
  - ・清潔で潤いのある環境づくり
  - ・興味・関心や学習意欲が高まる掲示物の充実
- 安全な学校づくりの推進
  - ・安全で学びやすい環境整備
- 学校の応援団の充実
  - ・組織の活性化とねらいに基づく人材活用（地域の先生・ボランティア）